

維新決だより

題字：田中初代組合長

Vol.47
2023.7

山口県の漁業を元気にする!

第9回下関カッターレース (7月16日)
本店前面下関漁港にて



新鮮やまぐち

第18回 山口県漁業協同組合通常総代会



第18回通常総代会開催

令和4年度事業報告・令和5年度事業計画(案)など承認

6月24日(土)午前10時よりシーモールパレス(下関市)で第18回通常総代会が開催されました。

総代会では冒頭に森友信組合長が「総代の皆様方におかれましては、県内各地から、ご出席いただき、また、山口県農林水産部秋山理事様、下関市島崎副市長様、農林中央金庫岡山支店牛山部長様をはじめ、ご来賓の皆様におかれましては、多数のご臨席を賜わり心より御礼申し上げます。

昨年度は「第5次中期計画」の2年目にあたり、強い組織と強い経営を目指し、計画達成のため着実に事業推進を進めて参りましたが、減損会計の厳格な対応等、多額の特別な費用が発生したことにより、最終利益は28百万円の欠損となりました。こつとした厳しい経営環境ではございましたが、組合員の皆様のご協力並びに関係機関の皆様のご指導、ご鞭撻に対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、長引くコロナ禍の影響により魚価がなかなか回復しなかったものの、瀬戸内海側のいわし船曳網など水揚が好調に推移した漁業種もあり、受託販売取扱高は3年ぶりに100億円台を回復した一方で、国際情勢の不安定と為替相場の円安暴調による諸物価の高騰は、燃油のみならず、漁業用資材価格にも大きく影響し漁業コストの増加を招き、組合員の皆様には大変ご苦労の多い年であったかと思えます。

組合運営につきましては、一層の効率化・合理

化を図るとともに、浜の生産力の構築、漁家所得の向上、浜のリーダーの育成や新規就業者対策など、行政や関係機関と連携しながら、積極的な事業推進に取り組んでまいります。」と挨拶されました。

次に山口県漁業協同組合功労者に選ばれた2名の方々の、長年にわたる漁業振興並びに経営基盤の強化に貢献されたことに対して表彰が行われました。

続いて、出席総代数の報告がなされ本総代会が成立することが告げられ、西島正明総代(豊浦支店運営委員長)を議長に選出し、議案の審議に入りました。

第1号議案 第18事業年度令和4年度(事業報告及び剰余金処分案の承認)について
第2号議案 第19事業年度令和5年度(事業計画(案)の承認)について

第3号議案 借入金 の 最 高 限 度 額 の 決 定 に つ い て
第4号議案 理事及び監事の報酬額の決定について
第5号議案 指導事業賦課金及び行使料について
第6号議案 会計監査人の選任について
第7号議案 役員(監事1名)の補欠選任について

上程された議案は、原案通り可決承認されました。



山口県漁業協同組合
功労表彰者

吉見支店	東和町支店	はまもと
	椋梨	浜本
	喜之	ただお
		忠雄
		よしゆき

やまぐちの瀬つきあじキャンペーン



6月3日は
「あじの日」!



貴船園(下関市)

6月3日の「あじの日」の恒例イベントとして、山口県中型まき網漁業連合会とやまぐちの農林水産需要拡大協議会が連携して、萩市、長門市、下関市にある6つの高齢者福祉施設に獲れたての「やまぐちの瀬つきあじ」を贈呈しました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行されたものの入居者の皆様に直接お渡しすることはできませんでしたが、後日、「瀬つきあじについて知り、獲れたてのあじを見て楽しく、お刺身等に調理し、美味しく味わうことができました」とお礼のお手紙をいただきました。

また、今年もハガキとインターネットでご応募いただいた方の中から抽選で「やまぐちの瀬つきあじ」が当たるキャンペーンを実施しましたところ、北海道から沖縄まで全国各地からご応募いただき、応募総数5,070件の中から30名の方にプレゼントしました。

2023 年度山口県漁協青壮年部連合会定期総会

4月29日(土)、山口グランドホテル(山口市)において、山口県漁業協同組合青壮年部連合会の定期総会が4年ぶりに開催されました。

開催にあたり村上幹男会長が「コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある一方で漁業用資材、燃油代の高騰など我々漁業者にとって厳しい状況が続いています。先行きが不透明な混沌とした中ではありますが、私たちは一体となって持てる英知の全てを結集し、儲かる漁業の構築をしていかなければなりません。」と挨拶しました。

続いて、海難遺児募金を実施した青壮年部に対し、海難遺児育英会より感謝状が贈呈され、代表して浮島青壮年部(周防大島町)に手渡されました。

令和4年度は各青壮年部からの募金をはじめ、研修会等において募金運動を展開した結果、総額548,305円の善意が集まりました。

議長選任のあと、議事に入り①令和4年度事業報告並びに収支決算の承認について②令和5年度事業計画並びに収支予算(案)の承認について③令和5年度会費徴収について④決議文採択についての議案を協議し、原案通り可決されました。

定期総会に引き続き、漁協青壮年部リーダー研修会を開催し、本年度は第27回全国青年・女性漁業者交流大会で全国JF全国女性連・JF全国漁青連会長賞を受賞した山口県漁協田布施支店「新鮮田布施」濱田秀樹さんより「決起!そして未来へつなぐ新鮮田布施」と題して日頃の取り組みと成果の発表を、床波支店「床波海域保全グループ」吉井秀文さんより「豊かな海の復活に向けて~アマモ場復活の取組~」と題し、豊かな海を取り戻すため実際に行なわれている取組についての講演がありました。



令和5年度 山口県漁協女性部通常総会

5月24日(水)、下関市民会館において山口県漁業協同組合女性部第17回通常総会が開催されました。

総会ではまず、主催者(部長:中津喜美子)挨拶、ご来賓の方より祝辞をいただきました。顕彰では、第28回全国青年女性漁業者交流大会で「農林中央金庫理事長賞」を受賞された潮さい倶楽部(蓋井島支店女性部)、令和4年度山口県漁村優良団体・青壮年女性表彰を受けられた山口県漁業協同組合栗野支店女性部と津室好子さんの功績を表彰しました。

議長選任のあと、議事に入り①令和4年度活動報告・貸借対照表・収支計算書の承認について②令和5年度の活動計画・収支予算(案)の承認について③令和5年度会費の賦課及び徴収方法について④役員の一部改選について、などの議案を協議し原案通り可決されました。

令和5年度の事業計画は「楽しく集う、漁業女性部の輪」を活動スローガンとし①LET'sおさかな運動②資源・環境・健康③ふれあい組織強化④漁協全利用の推進、を基本方針とし、女性部自らが率先し活動を進めていくこととしました。また、本店の信用部より金融商品のチラシの配布を行い、女性部員に対して商品の説明及び協力依頼がありました。講演では、エシカルバンブー株式会社 代表取締役社長 田澤恵津子氏に『未来を創る エシカルなモノづくりと新しい竹産業』と題してご講演いただきました。



リニューアルオープン！ 山口県漁協防府地方卸売市場



昨年9月1日から進められていた山口県漁協防府地方卸売市場(吉佐支店)の卸売場再整備工事が完了し、4月12日(水)竣工式が行われました。森友組合長、田辺運営委員長をはじめ、水産庁加工流通課長、防府市長など関係者34名が工事の完了を祝いました。

翌日午前5時30分から初ぜりということで、市場は熱気と喧噪に包まれながらも無事初日を終えました。

この度の再整備工事は、市場の衛生管理対策と施設の長寿命化対策として取り組んだ事業であります。

給水対策としまして、紫外線殺菌海水装置と海水電解装置を装備しました。前者は活魚ぜりなどに使用し、後者はセリ箱・パレットや床の洗浄に利用し衛生対策を強化しました。

また、鳥獣被害対策としまして、防鳥ネットを卸売場全周に施し鳥・犬・猫などの侵入防止を図るとともに、長靴消毒槽の設置や床の抗菌仕上げを含めて消費者の皆様へ安全・安心な魚を届ける体制が整いました。

市場の衛生化はハードに加えましてソフト対策がとても大事になります。このため、漁業者・買受人さんをはじめ市場関係者の皆様方に「みんなで守ろう！ 新しいルール」と銘打って衛生管理に向けたルールブックを作成し、市場で水産物を扱うプロとしてこのルールを共に実行していくことにしております。

市場は昭和62年に開設されたもので建物全体が老朽化していたため、施設の長寿命化を図ることが長年の課題でありました。このため、屋根をガルバリウム鋼板に全面葺替えをするとともに鉄骨の全面塗装や照明器具のLED化を進め市場は今、新しく生まれ変わりました。

今般のリニューアルを契機に吉佐管内は勿論のこと、県内の組合員の皆様方の出荷をお待ちしております。

なお、今回の卸売場の改築は浜の活力再生広域プランに基づくもので、総事業費は205,090千円(税抜)でそのうち、国から102,500千円の助成を受けています。

ご承知のとおり、令和3年4月から隣接する「道の駅潮彩市場防府」の指定管理業務を引き受けるとともに、昨年11月には漁協直営のショップ「JF山口 まこと」をオープンさせハモ加工製品や県産ノリの販売等を進めています。

今後とも、生産から加工・流通・販売と幅広く事業を展開し、漁業者の所得向上に努めていくことにしています。





中司 博士さん



期待の若手漁師に聞く!



なかつか ひろし

第41回 中司 博士

なかつか ひろし

今回は吉佐支店山口支所(吉佐統括支店)所属の中司 博士さんにお話を伺いました。

★本日はよろしくお願ひ致します。まずは自己紹介をお願いします。

(中司さん)中司 博士、38歳。防府市出身です。現在は防府市に妻と2人で暮らしています。

★漁業種類を教えてください。

(中司さん)11月から3月いっぱいまで素潜り漁をしていて主にナマコを獲っています。4月から10月までタコかご、合間に建網もやっています。

★漁師になろうと思った動機、きっかけなどを教えてください。

(中司さん)自分の父が漁師だったので漁師は幼いころから身近な職業ではありましたが、昔は漁師になろうとは思っていませんでした。結婚して義父が秋穂で漁師をしていて、その手伝いをしていてうちに漁師になりたいと思いました。

★ご家族の反応はいかがでしたか。

(中司さん)妻は自分の父親が漁師をしており、漁師の仕事の大変さや厳しさを知っていると思うので正直反対されるかとも思いましたが、やりたいなら頑張ってみれば良いと素直に応援してくれました。

★漁の一日の流れを教えてください。

(中司さん)素潜り漁では毎日決まった



平田 周作師匠



田村 和子支所長



田辺 寿之運営委員長

時間に出るわけではなく、干潮の2時間くらい前に沖に出てナマコなどを獲ります。ある程度の量が獲れたら帰ってくるという感じです。

★漁をしていて大変なことはありませんか。

(中司さん)一番はやっぱり危険と隣り合わせである事ですね。素潜り漁は孤独だし、コミュニケーションを取る術がないですからね。危険な場面に遭遇しても喋ることもできないのでそこが大変だなと思います。

★漁師をしていてやりがいを感じることは何ですか。

(中司さん)年々漁獲が減っている中でも自分で納得するものが獲れた時はやっぱり嬉しく思います。

★最近の水揚げ状況を教えてください。(中司さん)ナマコの量は年々減ってきています。でもその分値段も上がっているのので、そこでやっていけるかなといった感じです。

★平田師匠からみて中司さんはどうですか。

(平田さん)仕事に対して一途に一生懸命頑張っていますね。研修生の頃から変わらず真面目という印象です。

★これからの抱負をお願いします。

(中司さん)まずは安全第一に今携わっている素潜りやタコかごを安定させて生活の基盤を作る事、これから師匠と一緒に始めるカキの養殖など新しいことにも挑戦していきたいです。漁業が衰退している中で次世代の若者が漁師になりたいと思えるような見本になれる存在になっていきたいです。

★平田師匠から中司さんにメッセージをお願いします。

(平田さん)今は師匠というより、仲間という認識が高い。これからカキ養殖などをともに頑張って、今まで秋穂になかったものを形にしていこう。

★田辺運営委員長からメッセージをお願いします。

(田辺運営委員長)新しい若い力で秋穂の漁業を繁栄させていってほしいです。漁業の形にこだわらずに新しい漁業を進めていってほしいです。

★田村支所長からメッセージをお願いします。

(田村支所長)衰退や過疎と言った寂しい言葉が飛び交う中で山口市、そして秋穂を盛り上げることが師匠やみなさんへの最大の恩返しになると思いますのでこれからも頑張ってください。

★これから漁師を目指す方へのメッセージをお願いします。

(中司さん)漁師になりたいと思ってる人には山口県は研修制度が充実しているのでもまずは就業者フエアなどに参加していろいろな話を聞くことから始めてみてほしいです。秋穂では僕が一番若い状況で、若い漁師が少なくなっているので1人でも多くの人に漁師になってもらって漁業を盛り上げていきたいです。今研修を受けている人は今きついこと辛いこともあると思いますが、めげずに頑張ってください。

★本日はありがとうございました！



吉佐支店山口支所



海洋環境保全活動

“漁師の会社” 合同会社 大兵食品 加工場新設



周南さかな祭りでの販売風景



ハモを利用した新商品の開発

この度、周南地区において、山口県の新規就業者支援制度を活用し、独立した漁業者が代表を務める合同会社大兵食品が、県並びに市の補助事業を活用し、6次産業化へ取り組む新たな水産加工場を完成させました。

漁業をより魅力ある職種へとするため、安定的な漁業収入の確保し、水揚げ低迷期・休漁期に雇用の場を提供することで、漁業後継者の確保・育成にもつなげていく事を目的としています。そして、地産地消を推進し、学校給食や子供食堂支援等、地域貢献にも積極的に取り組み、加工時に出る切れ端・未利用部位を活用した、「食品ロス」の削減につながる商品開発も進めています。

また、生活の糧である大切な海を美しく次世代へつなげたい、その思いからオイルフェンスを活用した海洋ごみの回収・流出油等に備えた海洋環境の保全事業も実施しています。

商品は地元量販店・道の駅販売等の他、ギフト販売や各種イベント等での直販もおこなっています。



完成した加工場

特別金利キャンペーン

ご好評につき第8弾！

「豊漁とくとくとく定期貯金」

期間：2023年8月1日（火）～2023年12月29日（金）



生活応援ギフト3点セットプレゼント！

中身

- ・冷蔵庫&レンジ用クリーナー
- ・ジパック新鮮保存パック
- ・エコキッチンペーパー

300万円以上

店頭金利+

年 **0.10%**
(税引前)

100万円以上
300万円未満

店頭金利+

年 **0.08%**
(税引前)

5万円以上
100万円未満

店頭金利+

年 **0.05%**
(税引前)

●ご利用いただける方

個人の方（原則新規預入とします。但し、水揚・年金・給振口座からの振替、定積からの振替は可。定期満期からの振替は不可。）

●対象商品

定期貯金（自動継続）

●お預入金額

5万円以上

●お預入期間

1年



いつでもお気軽にお声掛けください！
山口県漁業協同組合

煮干共販生産状況報告

内海地区

内海東部地区(浮島支店・安下庄支店・東和町支店・阿月)のイワシ網を対象とした山口県漁協内海煮干共販が6月6日よりスタートしました。

今年の状況は、浮島で昨年同様6月1日の網入れ、安下庄で6月16日、東和町・阿月では7月2日に網入れを行いました。製品は、浮島では中大サイズのいいこが順調に生産されています。安下庄・東和町・阿月は始まったばかりですが、カエリ中心に生産されています。

6月末までに8回の共販を開催しました。取扱い内容のみますと、箱数13,836ケース、数量110トン(前年比18トン増)、金額13,039万円(前年比5,328万円増)、平均単価1,179円/kgの実績となっています。

これから梅雨が明け、4支店の漁模様が本格的になることを期待するところです。



令和5年度 7月1日付 人事異動について

I. 豊浦統括支店

1. 退職者

(令和5年6月30日付)

部署	氏名
特牛魚市場 場長	山本 政一

II. はぎ統括支店

1. 新規採用

新	氏名
見島支店	好川 直秀

2. 昇任

新	氏名	旧
はぎ統括支店 総務経理課 課長	末益 朱美	はぎ統括支店 総務経理課課長代理
はぎ支店 信用共済課 課長代理	小野 明子	事業部購買課 係長
見島支店 支店長	中村 隆治	見島支店 係長

3. 異動

新	氏名	旧
事業部 製氷冷蔵課	中村 亜由美	三見支店

III. 本採用

部署	氏名
本店 信用共済部 信用課	坂本 篤夫
本店 事業部 購買課	伊藤 翼
周南統括支店	岩本 永愛
吉佐統括 吉佐支店 向島支所	野田 順子
吉佐統括 吉佐支店 山口支所	仲嶋 優子
豊浦統括支店	河野 伊吹
はぎ統括 はぎ市場 庶務	井上 裕太
はぎ統括 はぎ支店信用・共済部	田中 瑠衣

はぎ

(イベント)

- 7月 2日(日) 第18回 萩の瀬付きあじ祭り開催
- 7月 15日(土) 「海の男と夏! 2023」青壮年部婚活イベント開催
- 9月 1日(金) ふぐ延縄漁解禁(越ヶ浜はえ縄船団出漁)

(水揚げ情報:7月調査)

- 新漁船リース事業による三見自営定置操業開始。
水揚げ好調。

長門

(イベント)

- 7月 26日(水) 大浦赤ウニ試験養殖実行団体の赤ウニ試食会
- 8月 1日(火) 小型底引網(小手繰)漁解禁
- 9月 キジハタ放流

(水揚げ情報:7月調査)

- 殆どの漁業種類が前年に比べ水揚げが低調。
一本釣り・抄・棒受網・船曳網のイカやイワシ漁の水揚げ回復に期待したい。

豊浦

(イベント)

- 7月 1日(土) 豊浦支店海開き(島戸海水浴場)
- 8月 27日(日) 新規就業者フェア 青壮年部出店

(水揚げ情報:6月調査)

- 前年比92.5%

本
山
以
西

(イベント)

- 6月~7月 ガザミ種苗放流、アオナマコ種苗放流
- 8月~9月 フルマエビ種苗放流、キジハタ種苗放流

宇部

(イベント)

- 7月 キューセン放流・車海老放流 宇部岬支店
- 7月 6日(木) 藤曲浦港の清掃 藤曲浦支店
- 7月 8日(土) 鍋島草刈作業 床波支店
- 7月 8日(土) 妻崎港の清掃 藤曲浦支店
- 7月 15日(土) 十七夜祭 東岐波支店・藤曲浦支店
- 7月 16日(日) 十七夜祭 床波支店
- 8月 ザミ放流 宇部岬支店
- 8月 港内アサリ 採貝予定 東岐波支店
- 9月 キジハタ放流 宇部岬支店
- 9月 港内アサリ 採貝予定 東岐波支店

岩
柳
大
島

(イベント)

- 7月 イワシ網開始 白木支店
- 7月 イワシ網開始 柳井支店

吉佐

(イベント)

- 7月 16日(日) ハモフェス
- 7月 26日(水) 港安全祈願祭

(水揚げ情報:7月調査)

- 底曳網:ハモ漁、クラゲが多く水揚量的にもこれからに期待したい。

周南

(イベント)

- 7月 支店組合員会議の開催(共同漁業権について)
- 9月 産卵用タコツボ設置予定
各月種苗放流実施予定

(水揚げ情報:7月調査)

- 定置網:クラゲなどにより水揚げ不漁
- 底曳網:水揚げ低調、ハモ漁獲量これからに期待
- 素もぐり:サザエ低調(4月-6月) 7月禁漁

光
熊
毛

(イベント)

- 7月 22日(土) 上関水軍まつり (室津港湾周辺)
- 7月 29日(土) 光花火大会 (虹ヶ浜海岸周辺)
- 8月 5日(土) ひらお十七夜まつり
(平生まち・むら地域交流センター周辺)

(水揚げ情報:7月調査)

- 全漁業種低調。

各支店のイベント・水揚げ情報などをお伝えします。

第18回 萩の瀬付きあじ祭り

7月2日(日)、萩地方卸売市場において「第18回萩の瀬付きあじ祭り」が盛大に開催されました。当日は約15,000人の来場者を迎え、山口県中型まき網漁業連合会大島船団、萩の魚ブランド化推進協議会、山口県漁協はぎ女性部の協力のもと、瀬付きあじの即売や握り寿司の無料試食、瀬付きあじのフライ、ひじき飯などの惣菜と水産加工品の販売を行いました。

5月から8月にかけて旬を迎える“萩の瀬つきあじ”のPRを目的に、毎年7月の第1日曜日に開催されてきましたが、コロナ禍のため2020年から2022年までは中止に。4年ぶりの開催となりました。

また、梅雨の晴れ間にも恵まれ、市内外より大勢の家族連れが訪れ、即売会場で買い物をすると1,000円ごとに1回、萩の特産品が当たるガラポン抽選会も実施され、大いににぎわった1日となりました。



編集
後記



今年も暑い夏が予想されていますが皆様いかがお過ごしでしょうか。さて私も暑さと加齢?で注意力の散漫を感じる事が多くなり、先週末は自分でしている散髪で、バリカン設定を間違えて頭頂部までバツサリ。助けを求めて24年振りに床屋へ行くも焼け石に水とのつれない返事。めげずに特殊スプレーにて凌いでいます。皆様もご自愛くださいませ。(M.O)